

世界初、全量グリーン鋼材採用の船舶が進水



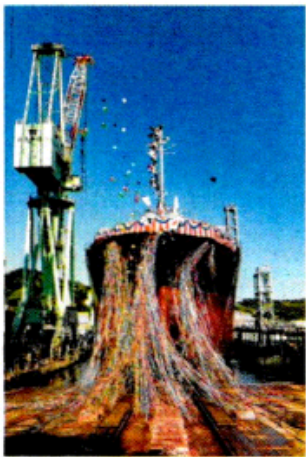
JFEスチールのグリーン
スチールを使って建造したド
ライバルク船が今週進水した
II 写真。使用鋼材すべてが
「グリーン」の船舶は世界初。
今回の進水と合わせ新たに2
隻の船舶へのグリーンスチー
ル供給が内定。全量グリーン
鋼材の船舶は計9隻となる形
で、約3万6千トンのグリーン
スチールが使われる予定だ。
造船業界でのグリーンスチー
ル。

JFEスチールが供給

命名・進水式にはJFEス
チールの赤木純一常務が出
席。「(進水した船は)地球
温暖化防止、カーボンニュ
ートラルに向けたシンボルにな
る」とコメントした。

JFEスチールのグリーン鋼材 初の全量採用船が進水

海事協会認証も取得予定



進水式の様子

JFEスチールは6
日、グリーン鋼材「J
GreX(ジェイク
リックス)」を使用した
ドライバルク船が愛媛
県今治市の檜垣造船
(檜垣宏彰社長)で建
造され、同社工場での
命名・進水式で「BR
IGHT QUEEN
(ブライト・クイーン)」
と命名されたと発表し
た。今回の建造の使用
鋼材は全てジェイクリ
ックスで、グリーン鋼
材のみを使用した船舶
は世界初となるとい

う。ドライバルク船へ
の採用は合計5社、9
隻に拡大。納入数量は
当初予定より1万20
00ト増え、合計3万
6000ト程度となる
見通しだ。
進水式は5日に開催
され、出席したJFE
スチールの赤木純一常
務執行役員は「ジェイク
リックス採用の最初
のドライバルク船が無
事進水し、グリーン鋼
材使用船の第三者認証
も取れる予定。この船
が地球温暖化防止、カ
ーボンニュートラル
(CN)に向けたシンボ
ルとなり、関係各社・
団体と連携してグリー
ン鋼材のさらなる普及
につながるかと考えて
いる」と述べた。
同船建造は同社と海
運会社各社が共同でC
O₂削減価値をサブ
ライチェーン全体で負担
し社会分配する新たな
ビジネスモデルを世界
に先駆け構築した取り
組みの一環となる。
同船は海運会社のN
YKバルク・プロジェクト
(NBP、東京都、
須田雅志社長)が檜垣
造船に建造を発注。同
鋼材採用を決めたドラ
イバルク船2隻のうち
の1隻目。新たに建造
発注するドライバルク
船2隻でも同鋼材を全
量採用する。

日本海事協会の「環
境ガイドライン」によ
る船体構造などへのグ
リーン鋼材使用を示す
記号「aIEA(GRS)」
が船級符号に世界
で初めて付記される予
定で、9月ごろの就航
時に取得の見込みだ。
ジェイクリックス
は、JFEスチールの
CO₂排出削減技術に
より創出した削減量を
「マンスバランス方式」を
適用して任意の鋼材に
割り当て、鉄鋼製造プ
ロセスでのCO₂排出
量を大幅に削減するグ
リーン鋼材。同社は昨
年、NBP、商船三井ド
ライバルク、川崎汽船
など国内海運8社とC
O₂削減価値の社会分
配モデルを構築し、ド
ライバルク船への一斉
採用が決定していた。



進水式の様子

今後発注するドライバルク船2隻の建造でも「JGreen X」を採用する見通し。同社はグリーン鋼材を船舶に使用

NYKバルク・プロジェクト グリーン鋼材の近海船命名 JFE製「BRIGHT QUEEN」

NYKバルク・プロジェクト(NBP)は6日、JFEスチール製のグリーン鋼材「JGreen X(ジェイグリーンクス)」を使用した近海新造船2隻のうち、1番船の命名進水式を建造中の檜垣造船本社工場(愛媛県今治市)で5日に開催したと発表

した。1番船は「BRIGHT QUEEN」と命名。グリーン鋼材だけを使用した船舶は日本郵船グループで初となる。「BRIGHT QUEEN」は今秋にも日本とアジア近海を結ぶ近海航路に投入される。日本からは主に鋼材を輸送する。東南アジアからはパイオマスや合板などの日本向け輸送を担う予定という。

「JGreen X」は、鉄鋼製造プロセスのCO₂(二酸化炭素)排出量を大幅に削減した鉄鋼製品。JFEスチールのCO₂排出削減技術により創出した削減量を、「マスパランス方式」を適用して任意の鋼材に割り当てたものだ。

NBPは、「BRIGHT QUEEN」には日本海事協会(NK)の「環境ガイドライン」による船体構造などのグリーン鋼材の使用を示す記号「a-EEA(GRS)」が世界で初めて船級符号として付記される予定。

JGreen X初採用船が建造 実績5社・9隻に上積みへ

JFEスチールのグリーン鋼材「JGreen X」を採用したドライバルク船が建造され、5日に檜垣造船(愛媛県今治市)の本社工場で命名・進水式が行われた。今回、建造に使用された鋼材は全てJGreen Xで、JGreen X初採用船舶であるとともにグリーン鋼材のみを使用した世界初の船舶。「BRIGHT QUEEN」と命名した。同船は日本海事協会の「環境ガイドライン」による船体構造などへのグリーン鋼材使用を示す記号「a-EEA(GRS)」が船級符号に世界で初めて付記される。

BRIGHT QUEENは海運会社のNYKバルク・プロジェクト(東京都千代田区)が檜垣造船に建造を発注し、JGreen Xの採用を決めていたドライバルク船2隻のうち1隻目。NBPが新たに建造発注するドライバルク船2隻も鋼材の全てにJGreen Xが採用される予定で、ドライバルク船へのJGreen X採用が合計5社・9隻になる。JGreen Xの納入数量は当初予定より1万2千ト多い3万6千ト程度となる見通しだ。

今回、進水式を行った船は昨年6月に採用したと公表した4案件の1つ。これまでNYKバルク・プロジェクトのほか、商船三井ドライバルク、東興海運、川崎汽船、第一中央の海運会社がJGreen X採用の船を発注している。

世界初の「グリーン鋼材船」進水 JFEスチールが素材

物流・運輸 [+ フォローする](#)

2024年6月6日 17:55

保存 グループシェア



JFEスチールのグリーン鋼材を使ったドライバルク船が進水した（5日、愛媛県今治市）

JFEスチールは6日、二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロとみなす「グリーン鋼材」で建造した船が進水したと発表した。会社によると、グリーン鋼材のみを使った船舶は世界で初めて。同鋼材は通常よりも4割ほど高いが、海運業界の脱炭素の取り組みとして注目されている。

建造した檜垣造船の本社工場（愛媛県今治市）で5日、ドライバルク（ばら積み）船の進水式が行われた。[日本郵船](#)子会社のNYKバルク・プロジェクト（東京・千代田）の海運事業に使われる。同社の船舶2隻にグリーン鋼材を追加で提供する。

9月に就航し、日本海事協会（東京・千代田）からグリーン鋼材を使用したとの証明を受ける予定だ。

JFEスチールは[商船三井](#)や[川崎汽船](#)など海運5社の計7隻にグリーン鋼材を供給すると発表していた。新たにNYKバルク社が2隻を追加発注し、計9隻に増える。使用されるグリーン鋼材は1万2千トン増えて、計3万6千トンとなる。

グリーン鋼材は、別の鋼材の製鉄過程で減らしたCO₂を割り当て、CO₂を削減したとみなす仕組み。JFEスチールはCO₂排出量の多い鉄鉱石と石炭を使う代わりに鉄スクラップを混ぜる取り組みなどを通じてCO₂を減らしている。

海運業界も脱炭素を進めているが、燃料を大量に使うことなどから大幅な削減は難しい。グリーン鋼材の販売価格は通常よりも4割ほど高いが、脱炭素の取り組みの一つとして一定の需要がある。

JFEスチールは荷主として当該の船を利用して運賃の引き上げを受け入れており、グリーン鋼材の採用につながっている。